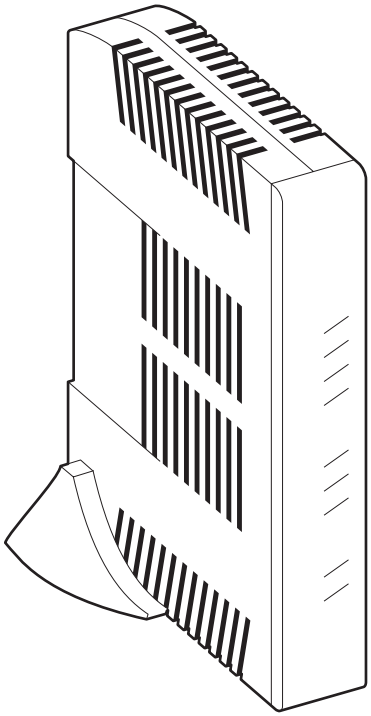
MegaBit Gear TE4413TA

取扱説明書（詳細編）　初版



SUMITOMO ELECTRIC NETWORKS, INC.

設定項目について

●基本設定

インターネット環境に接続するための設定項目です。

基本設定(☞ p.9)

●IP電話設定

IP電話を使用する時に設定してください。

IP電話設定(☞ p.12)
IPアクセス設定(☞ p.17)
IP電話 発着信設定(☞ p.22)

●UPnP CP(コントロールポイント)設定

UPnPコントロールポイント機能を使用する時に設定してください。

UPnP CP（コントロールポイント）設定(☞ p.16)

●IPスタティックルート設定

IPルーティング情報を登録する時に設定してください。

IPスタティックルート設定(☞ p.20)

●セキュリティ

アクセス制限やポート変換などを行う時に設定してください。

アクセス制限設定(☞ p.18)

●その他の設定

ログインパスワード設定(☞ p.25)
時刻設定(☞ p.27)
設定のバックアップ・リストア(☞ p.28)
設定の初期化(☞ p.32)

●表示

バージョン情報(☞ p.33)
機器状態・ログ(☞ p.34)

●保守

Pingテスト(☞ p.37)
機器再起動(☞ p.39)
バージョンアップ(☞ p.40)

注意 **接続サービス事業者によっては記載の機能の一部をサポートしていない場合があります。**

注意 **必ず最初に「おまかせ設定」(☞ 「MegaBit Gear TE4413TA 取扱説明書(導入編)4-2章」)で設定を行い、その後必要に応じてこの説明書に従って設定を行ってください。**

目　次

設定項目について ····· 2

目　次 ····· 3

1 詳細設定(詳細モード) ····· 5

1-1 管理メニューを表示する ····· 5

2 Web設定 ····· 9

2-1 基本設定 ····· 9

2-2 IP電話設定 ····· 12

2-3 UPnP CP(コントロールポイント)設定 ····· 16

2-4 IPアクセス設定 ····· 17

2-5 アクセス制限設定 ····· 18

2-6 IPスタティックルート設定 ····· 20

2-7 IP電話 発着信設定 ····· 22

3 各モードに共通な設定 ····· 25

3-1 ログインパスワード設定 ····· 25

3-2 時刻設定 ····· 27

3-3 設定のバックアップ・リストア ····· 28

3-4 設定の初期化 ····· 32

4 表示 ····· 33

4-1 バージョン情報 ····· 33

4-2 機器状態・ログ ····· 34

5 保守機能 ····· 37

5-1 Pingテスト ····· 37

5-2 機器再起動 ····· 39

5-3 バージョンアップ ····· 40

5-4 初期化設定での起動方法 ····· 43

6 IP電話機能 ····· 44

6-1 IP電話について ····· 44

6-2 発信(電話をかけるには) ····· 45

6-3 着信(電話を受けるには) ····· 46

6-4 ナンバー・ディスプレイ表示(発信電話番号表示サービス) …… 47
6-5 キャッチホン(通話中に別の電話を受けるには) …… 49
6-5-1 キャッチホンの切り替え例……50
6-5-2 キャッチホン・ディスプレイ表示……52
6-6 擬似キャッチホン(通話中に別の電話を受けるには) …… 53
6-6-1 擬似キャッチホンの切り替え例……54
6-7 IP電話番号について(複数設定・ダイヤルイン) …… 56
6-8 発信電話網選択 …… 57
6-9 識別着信・着信拒否 …… 58
6-10 IP電話を使用するための設定 …… 59

1 詳細設定(詳細モード)

本章ではインターネット接続時の、詳細設定の方法を説明しています。あらかじめ詳細設定(詳細モード)でログインしてください。

注意 簡易設定を行いたい場合は、簡易設定(簡易モード)でログインして、設定を行ってください。
(☞「MegaBit Gear TE4413TA 取扱説明書(導入編)」)

注意 簡易設定を行うと、既存の設定内容は削除されます。設定項目を修正する場合は、詳細設定(詳細モード)で再度ログインし直してください。

注意 簡易設定の「おまかせ設定」を行った後に、詳細設定(詳細モード)から設定項目を修正すると、「おまかせ設定」の「接続サービス事業者」の項目は空欄となります。

1-1 管理メニューを表示する

1 Webブラウザを起動してください。

注意 JavaScriptの使用を「有効」に設定してください。

2 Webブラウザのアドレス欄に次のアドレスを入力し、Enterキーを押してください

http://192.168.1.1/

注意 LAN側のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力してください。

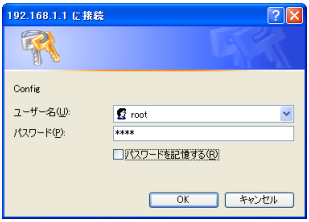
注意 設定後に再度アクセスする場合には、いったん本製品を初期化してください(☞「5-4 初期化設定での起動方法」p.43)。

Memo このアドレスは工場出荷時に設定された値です。
変更することができます。

3 **次のユーザ名およびパスワードを入力し、OK をクリックしてください。**

ユーザ名：root

パスワード：root



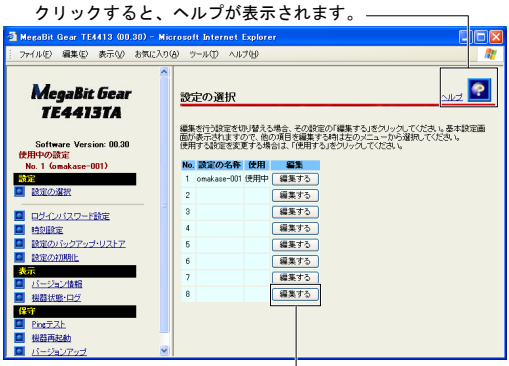
管理メニューが表示されます。

Memo ユーザ名とパスワードは初期値です。運用開始時にはセキュリティの観点から、変更することをお勧めします。変更方法についての詳細は「3-1 ログインパスワード設定」を参照してください(☞ p. 25)。

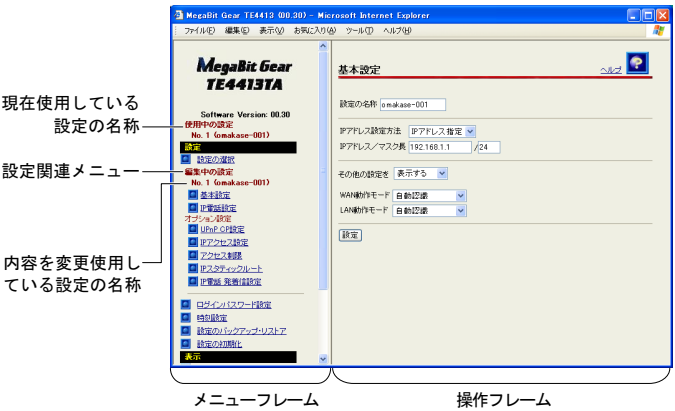
Memo 設定したIPアドレスやパスワードを忘れてしまった場合は、初期化設定を行って本製品にアクセスすることができます。
(☞ 「5-4 初期化設定での起動方法」p. 43)

管理メニューについて

管理メニューは、メニューフレームと操作フレームに分かれています。
メニューフレームから、「設定」「表示」「保守」の各メニューを選択すると、操作フレームに設定ページや関連情報が表示されます。

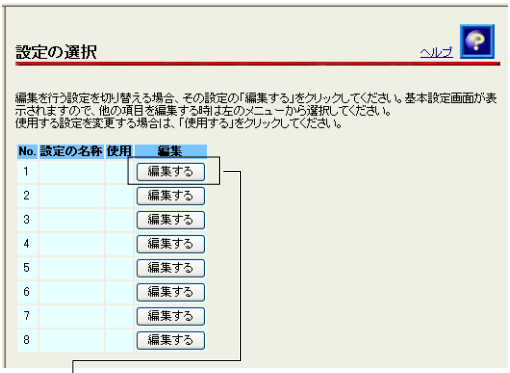


操作フレームの 編集する をクリックすると、メニューフレームに編集対象となっている設定名称と、設定関連のメニューが表示されます。



4 メニューフレームの 設定の選択 をクリックしてください。

操作フレームに設定の選択画面が表示されます。



5 編集する をクリックしてください。

操作フレームに基本設定画面が表示されます。

6 設定を行ってください。

2 Web設定

2-1 基本設定

基本設定では機器動作に必要な設定を行います。

1 メニューフレームの 設定の選択 をクリックし、 編集する をクリックしてください。

操作フレームに基本設定画面が表示されます。

・[IPアドレス設定方法]で、「DHCP取得」を選択した場合

注意 [WAN動作モード]、[LAN動作モード]を表示するには、その他の設定を[表示する]を選択してください。

・[IPアドレス設定方法]で、「IPアドレス指定」を選択した場合

注意 **[WAN動作モード]、[LAN動作モード]を表示するには、その他の設定を[表示する]を選択してください。**

①[設定の名称]

設定の名称を入力してください。

Memo 複数の設定を登録した場合に、ここで設定した名称で判別することができます。

Memo 16文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。また、大文字と小文字は区別されます。
ただし、<, >, ¥, ', ", ?, &, %, =は使用できません。

②[IPアドレス設定方法](WAN側IPアドレスの設定方法)

プロバイダから指定された方法を選択してください。

・DHCP取得

WAN側のIPアドレスを「DHCP」により取得するよう指定されている場合に選択してください。

・IPアドレス指定

プロバイダからWAN側のIPアドレスが指定されている場合に選択してください。

③[ホスト名]

ホスト名を入力することにより、DHCPサーバに対しこのホスト名に対応したIPアドレスを取得しにいきます。ただし、入力しない場合やDHCPサーバにホスト名の設定がない場合は任意のアドレスを取得します。

④[IPアドレス／マスク長]

プロバイダから指定されたIPアドレス／マスク長を入力してください。

マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば「255.255.255.0」のマスク長は「24」となります。

注意 **[IPアドレス設定方法]で「IPアドレス指定」を選択している場合にのみ設定できます。**

⑤[その他の設定を]

接続先に関する詳細な設定を行う場合は、「表示する」を選択してください。

・表示する　　・表示しない

⑥WAN動作モード

⑦LAN動作モード

WAN／LANインタフェースの動作モードを選択してください。

通常は「自動認識」でご使用ください。

接続するハブやパソコン等と固定のモードで接続する場合は、次のいずれかから選択してください。

・100Mbps 全二重　　・100Mbps 半二重

・10Mbps 全二重　　・10Mbps 半二重

Memo 「自動認識」を選択した場合は、ストレート/クロス接続の自動認識も同時に行います。

2 設定 **をクリックしてください。**

設定内容が保存されます。

Memo 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動を行ってください。設定が反映されます。前面のランプで起動したことを確認した後、再表示 をクリックし、本製品に再度接続してください。

Memo 設定が保存され、再起動が完了した時点で、設定した内容に従って機器が動作します。

Memo 削除 をクリックすると、すべての設定内容が削除されます。ただし、現在使用中である設定は削除されません。

2-2 IP電話設定

IP電話の基本設定を行います。

1 メニューフレームから IP電話設定 をクリックしてください。
操作フレームにIP電話設定画面が表示されます。

Memo TELポートに接続する機器固有の設定についての詳細は、「2-7 IP電話 発着信設定」(☞ p. 22)を参照してください。

①[IP電話機能]

IP電話機能を使用するかどうかを選択してください。

・使用する　　・使用しない

②[IP電話ホスト名]

プロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。

③[IP電話ユーザID]

プロバイダから指定されたユーザIDを入力してください。

Memo 32文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
また、大文字と小文字は区別されます。
ただし、<, >, ¥, ', ", ?, &, %, =は使用できません。

④[IP電話ユーザパスワード]

プロバイダから指定されたユーザパスワードを入力してください。

Memo 32文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
また、大文字と小文字は区別されます。
ただし、<, >, ¥, ', ", ?, &, %, =は使用できません。

⑤[IP電話番号]

⑥[IP電話番号(追加1)]

⑦[IP電話番号(追加2)]

プロバイダから指定されたIP電話番号の入力と、そのIP電話番号宛に着信した場合に着信する(呼び出しを行う)TELポートを選択してください。

⑧[IP電話サーバ名]

プロバイダから指定されたサーバ名を入力してください。

サーバ名：本製品を制御するIP電話サーバのドメイン名か、またはIPアドレス(どちらでも可)を入力してください。

優先と代替の2つのサーバ名を設定してください。

⑨[その他の設定を]

IP電話の詳細な設定を行う場合は、「表示する」を選択してください。

・表示する　　・表示しない

⑩[優先して使用する音声圧縮方式]

プロバイダから指定された「優先して使用する音声圧縮方式」を選択してください。

・G.711　　・G.729A

⑪[FAX転送方式]

プロバイダから指定されたFAX転送方式を選択してください。

・G.711　　・T.38

⑫[IP電話発信の通知番号(電話ポート1)]
[IP電話発信の通知番号(電話ポート2)]
IP電話の発信時に接続先に通知する電話番号を、「IP電話番号」、「IP電話番号(追加1)」、「IP電話番号(追加2)」「通知しない」から電話ポート毎に選択してください。

Memo 全てのIP電話番号の着信ポートが「ポート1」または「ポート2」の場合、着信ポートの割り当てられていない電話ポートの選択項目は「IP電話番号」のみになります。

Memo 「おまかせ設定」で選択した接続サービス事業者によっては、表示されない場合があります。

⑬[IP電話着信のナンバー・ディスプレイ表示]
ナンバー・ディスプレイ機能を有する電話機をどのポートに接続しているかを選択してください。
・なし　・ポート1　・ポート2　・両方のポート

Memo ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機を接続する場合、「なし」に設定してください。

⑭[IP電話発信時の発信トーン]
発信トーンを選択してください。
・DT　・PDT

Memo 発信トーンとはIP電話発信が可能な場合に、受話器を上げると聞こえる発信時の音を言います。
「DT(プーという音)」「PDT(プップッという音)」のどちらかを選択してください。
なお、「PDT」を選択した場合に、電話機のダイヤル信号方式(PB/DP)の自動検出が正常に動作しない場合があります。
その場合は「DT」に設定してください。

⑮[IP電話着信時の呼び出し音]
呼び出し音を選択してください。
・IR　・SIR

Memo 着信時の呼び出し音とはIP電話の着信時に電話機が鳴らす呼び出し音を言います。
「IR(リーンリーンという音)」「SIR(リンリンという音)」のどちらかを選択してください。
なお、「SIR」を選択した場合に、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。
その場合は「IR」に設定してください。

⑯[一般電話の着信ポート]

一般電話からの電話を、どのポートに着信させるかを選択してください。

・ポート1　　・ポート2　　・両方のポート

⑰[一般電話着信のナンバー・ディスプレイ表示]

ナンバー・ディスプレイ機能を有する電話機をどのポートに接続しているかを選択してください。

・なし（未契約）　　・ポート1　　・ポート2

Memo　ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機を接続する場合、「なし」に設定してください。

⑱[一般電話のダイヤル信号方式]

一般電話回線でご契約のダイヤル信号方式を選択してください。

・自動認識　　・トーン　　・パルス

⑲[一般電話のキャッチホン契約]

一般電話回線のキャッチホン契約の有無を設定してください。

⑳[電話ポートのダイヤル信号方式]

電話ポートに接続した電話機、またはファクシミリが使用するダイヤル信号方式を選択してください。

・一般電話に合わせる

電話ポートでは一般電話で使用するのと同じダイヤル信号方式(PBもしくはDP)が使用可能となります。

・常にトーンを使用

一般電話で使用される信号が、ダイアル信号方式であっても、電話ポート側ではPBが使用可能となります。

注意　**一般電話で使用するダイアル信号がDPの場合、本製品の電源がオフになった際には、電話機の設定をDP使用に変更する必要があります。**

2 設定 **をクリックしてください。**

設定内容が保存され、反映されます。

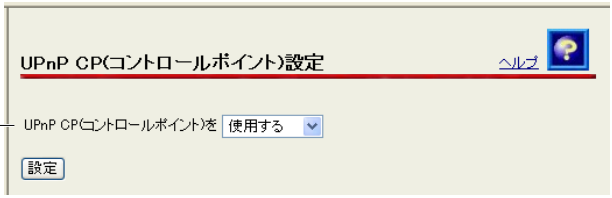
2-3 UPnP CP(コントロールポイント)設定

UPnPコントロールポイント機能を使用する/しない、を選択します。ブロードバンドルータと接続して使用するには、常に“使用する”を選択してください。

注意 **ブロードバンドルータは、UPnP対応のものをご使用ください。ただし、すべてのUPnP接続を保障するものではありません。**

1 **メニューフレームから UPnP CP（コントロールポイント）設定 をクリックしてください。**

操作フレームにIP電話設定画面が表示されます。



①[UPnP CP(コントロールポイント)を]

ブロードバンドルータと接続して、IP電話機能を使う場合には常に“使用する”を選択してください。

・使用する

・使用しない

2 **設定 をクリックし、再起動してください。**

設定内容が保存され、反映されます。

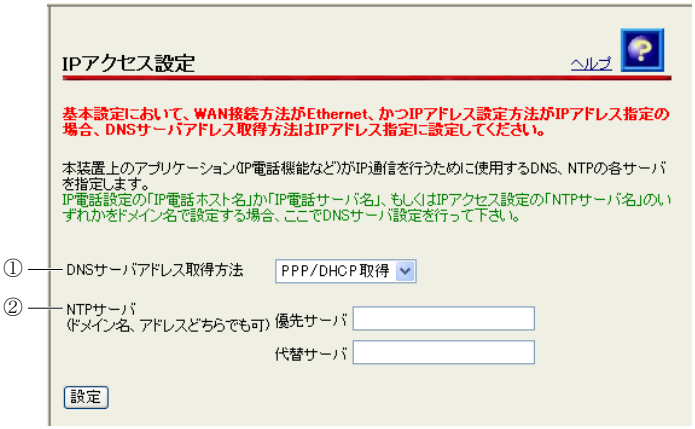
2-4 IPアクセス設定

本製品上のアプリケーション(IP電話機能など)がIP通信を行うために必要となるDNS、NTPの各サーバの指定方法を説明します。

Memo IP電話設定の「IP電話ホスト名」か「IP電話サーバ名」、もしくはIPアクセス設定の「NTPサーバ名」のいずれかをドメイン名で設定する場合は、ここでDNSサーバ設定を行ってください。

1 メニューフレームから IPアクセス設定 をクリックしてください。

操作フレームにIPアクセス設定画面が表示されます。



①[DNSサーバアドレス取得方法]

IP電話サービス事業者などから特に指定がない限りは、「PPP/DHCP取得」を選択してください。

・PPP/DHCP取得
接続先からDHCPによって取得したDNSサーバアドレスを使用する場合に選択してください。

・IPアドレス指定
手動でIPアドレスを入力する場合に選択してください。
「IPアドレス指定」を選択することで「DNSサーバアドレス」の入力欄が表示されます。

②[NTPサーバ]

プロバイダから指定されたNTPサーバ名を入力してください。
IP電話において、クロック同期を取るためのNTP(Network Time Protocol)サーバのドメイン名、またはIPアドレスを入力してください。
優先と代替の2つのサーバ情報を入力してください。

2 設定 をクリックしてください。

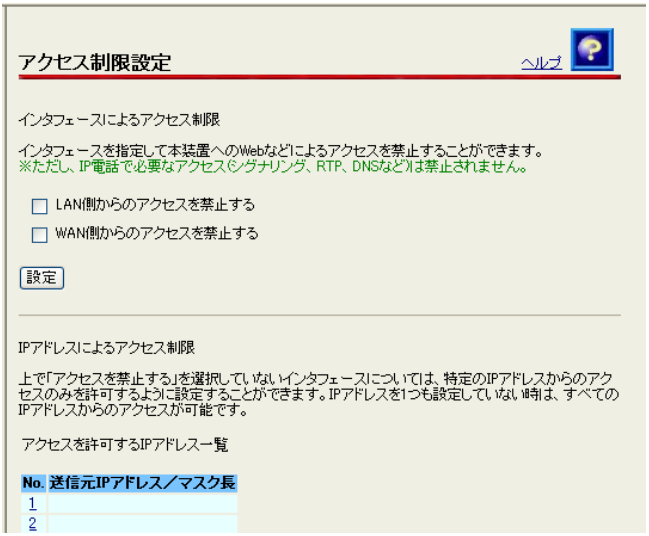
設定内容が保存され、反映されます。

2-5 アクセス制限設定

設定や管理を行うためのアクセスを制限することができます。

1 **メニューフレームから アクセス制限 をクリックしてください。**

操作フレームにアクセス制限設定画面が表示されます。



2 **チェックボックスをクリックしてアクセスを禁止するインタフェースを選択してください。**

LAN側、WAN側各接続先からのアクセスが制限されます。チェックボックスをクリックしてアクセスを禁止するインタフェースを選択してください。

注意 **通常は[LAN側からのアクセスを禁止する]をチェックしないでください。LAN側のパソコンからも本製品へのアクセスができなくなります。**

3 設定 **をクリックしてください。**

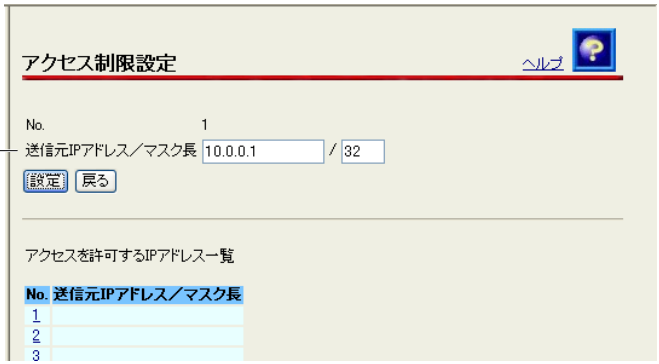
インタフェースによる制限の設定が保存され動作に反映されます。

IPアドレスによるアクセス制限

IPアドレスによる制限を行う場合は、次の方法で設定を行ってください。

1 **設定を行う 数字 をクリックしてください。**

アクセス制限設定画面が表示されます。



①[送信元IPアドレス／マスク長]

アクセスを許可する送信元IPアドレス／マスク長を入力してください。

マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば「255.255.255.0」のマスク長は「24」となります。

2 **設定 をクリックしてください。**

アクセスを許可する送信元IPアドレスが設定されます。

注意 **アクセス制限を行うインタフェースやIPアドレスは、注意して入力してください。**
アクセス制限設定の内容によっては、パソコンから本製品へのアクセスができなくなってしまう場合があります。
本製品にアクセスできなくなった場合は、初期化設定で起動して、設定をやり直してください。
(☞ 「5-4 初期化設定での起動方法」 p. 43)

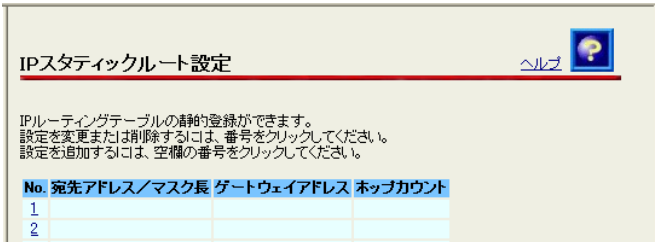
Memo ここで設定するマスク長は、アドレス範囲を設定するためのものです。例えば、「192.168.1.2/32」と設定すると、192.168.1.2の端末のみアクセスが可能になり、「192.168.0.0/16」と設定すると、192.168で始まるアドレスを持つすべての端末からアクセスが可能になります。
実際のネットワークに与えられたマスク長と一致させる必要はありません。

Memo 何も設定しない場合は、すべてのIPアドレスからのアクセスが許可されます。

2-6 IPスタティックルート設定

LAN内に他のルータが存在し、そのルータの先にあるパソコンから本製品にアクセスを行う場合に、あらかじめルーティングテーブルにルーティング情報を登録する必要があります。

1 メニューフレームから IPスタティックルート をクリックしてください。
操作フレームにIPスタティックルート設定の一覧画面が表示されます。



2 設定を行う 数字 をクリックしてください。
IPスタティックルート設定画面が表示されます。

①[宛先アドレス／マスク長]
宛先アドレス／マスク長を入力してください。
マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば「255.255.255.0」のマスク長は「24」となります。

②[ゲートウェイアドレス]
宛先へのゲートウェイとなるLAN内のルータのアドレスを入力してください。

③[ホップカウント]
宛先ネットワークまでのホップ数を選択してください。

3 設定 をクリックしてください。

スタティックルートが保存され、ルーティングテーブルにただちに反映されます。

Memo 削除 をクリックすると選択された番号の設定が削除されます。また、戻る をクリックすると入力した値は反映されないで、スタティックルート設定の一覧画面に戻ります。

Memo スタティックルートは最大32件まで登録できます。

Memo 通常、デフォルトルートは、IPアドレス設定方法(☞ p.10)がIPアドレス指定の場合に設定する必要があります。その場合は次の値を入力して下さい。

・宛先アドレス／マスク長：0.0.0.0/0

・ゲートウェイアドレス：本製品のWAN側に接続されるルータのIPアドレスを入力してください。

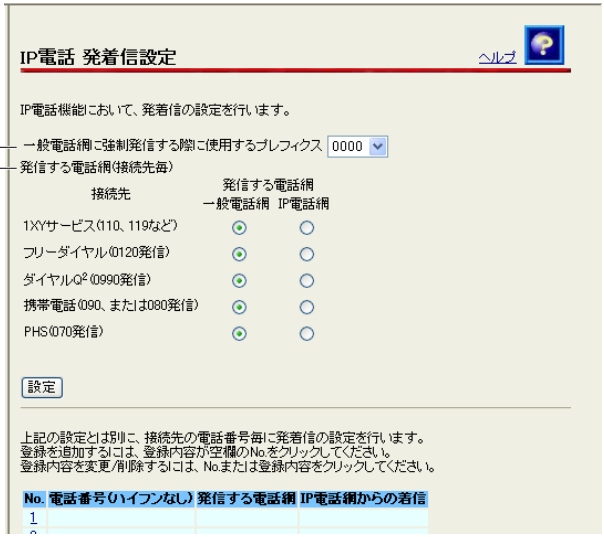
・ホップカウント：1

2-7 IP電話 発着信設定

接続先の電話番号に応じて、発信および着信する条件を設定します。
「電話番号の個別設定」画面から、発信する電話網を直接電話番号で指定することができます。
電話番号は最大32個まで登録できます。

注意 **ただし「発信する電話網(接続先毎)」設定の接続先の項目に属する電話番号を登録した場合、電話番号毎の設定が優先されます。**

1 **メニューフレームから IP電話 発着信設定 をクリックしてください。**
操作フレームにIP電話 発着信設定画面が表示されます。



①[一般電話網に強制発信する際に使用するプレフィックス]
一般電話回線に強制的に発信する際に使用するプレフィックスを設定してください。

Memo プレフィックスとは電話番号の前に付ける1文字の記号、または数字のことを言います。
本設定項目では次の中から1つ選択できます。
* 8 9 0000 0009

②[発信する電話網(接続先毎)]

接続先毎に発信する電話網を選択してください。

発信する電話網は「一般電話網」「IP電話網」のどちらかになります。

接続先は次から選択してください。

ただし「1XYサービス(110、119など)」は184、186を除くものとします。

・1XYサービス(110、119など)
・フリーダイヤル(0120発信)
・ダイヤルQ2(0990発信)
・携帯電話(090、または080発信)
・PHS(070発信)

Memo 一般電話で発信者番号を通知するには

一般電話で発信者番号を相手側に通知する場合：

局番の前「186」を付けて発信してください。

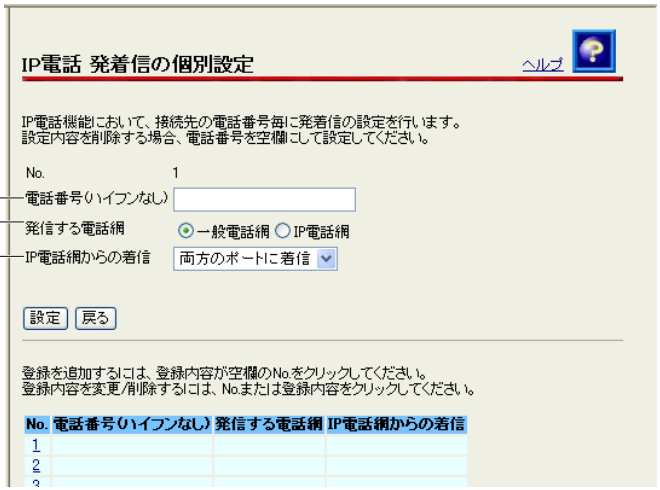
発信者番号を相手側に通知しない場合は：

局番の前に「184」を付けて発信してください。

Memo 「186」または「184」を付けずに発信する場合の発信者番号通知条件は、NTTとの契約によって決まります。

2 設定を行う 数字 をクリックしてください。

発着信の個別設定画面が表示されます。



①[電話番号(ハイフンなし)]

設定する電話番号をハイフンなしで入力してください。

②[発信する電話網]

電話番号毎に発信する電話網を選択してください。

・一般電話網　　・IP電話網

③[IP電話網からの着信]

着信するポートを選択してください。

・両方のポートに着信　　・ポート1にのみ着信

・ポート2にのみ着信　　・着信しない

3 設定 **をクリックしてください。**

設定内容が保存され、反映されます。

Memo 電話番号の個別設定を削除したい場合、電話番号を空欄にして、設定 をクリックしてください。

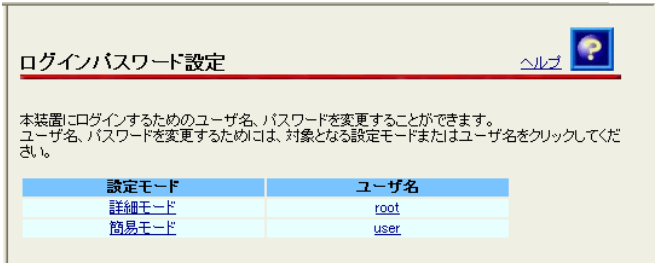
4 **IP電話 発着信設定の画面で、** 設定 **をクリックしてください。**

3 各モードに共通な設定

3-1 ログインパスワード設定

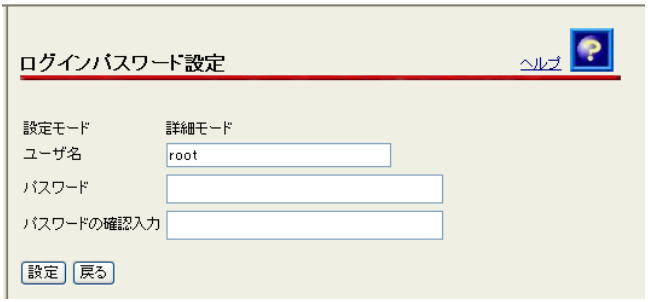
本製品にログインするためのログインユーザ名、パスワードを変更します。

1 メニューフレームの ログインパスワード設定 をクリックしてください。
操作フレームにログインパスワード設定画面が表示されます。

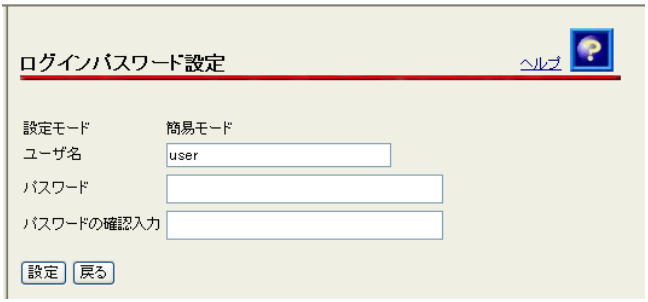


Memo 詳細モードのユーザ名は、詳細モードでログインした場合表示されます。

2 詳細モード 、または 簡易モード をクリックしてください。
ログインパスワード変更画面が表示されます。
・詳細モードをクリックした場合



・簡易モードをクリックした場合



3 ［ユーザ名］にユーザ名を、［パスワード］および［パスワードの確認入力］にパスワードを入力してください。

Memo 32文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
ただし、<，>，¥，’，”，？，&，%，=，：は使用できません。
大文字と小文字は区別されます。

Memo パスワードおよびパスワードの確認入力欄の入力文字は、すべて“●”や“＊”に置き換わって表示されます。

4 設定 をクリックしてください。

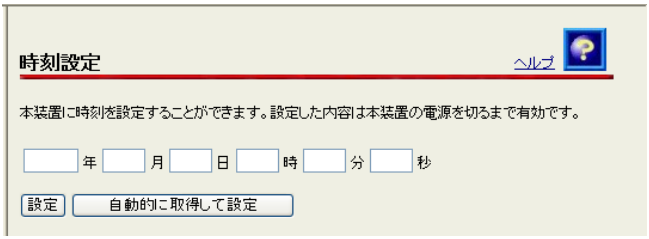
注意 **設定内容がフラッシュメモリに書き込まれます。**
書き込み中は、前面のLine、VoIP、Lan、PPP/DHCP、Wan、およびAlarmの各ランプが点滅します。
ランプの点滅が終わるまでは、機器の電源を切らないようにしてください。
フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。

Memo 設定したログインユーザ名やパスワードを忘れてしまった場合は、初期化設定を行って本製品にアクセスすることができます（☞ 「5-4 初期化設定での起動方法」p.43）。

3-2 時刻設定

本製品に時刻を設定します。

1 **メニューフレームの 時刻設定 をクリックしてください。**
操作フレームに時刻設定画面が表示されます。



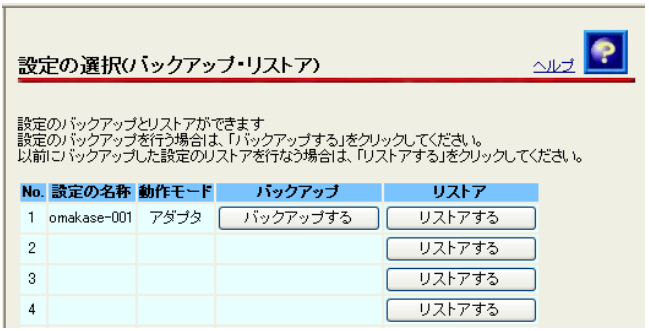
2 **本製品に時刻を設定して、 設定 をクリックしてください。**
現在接続中のパソコンの時計から時刻を取得して設定する場合は、
自動的に取得して設定 をクリックしてください。

Memo 局側の設備によっては、自動的に時刻設定されます。
その場合は、最後に設定された時刻が有効になるため、手動による時刻設定を行う必要はありません。

3-3 設定のバックアップ・リストア

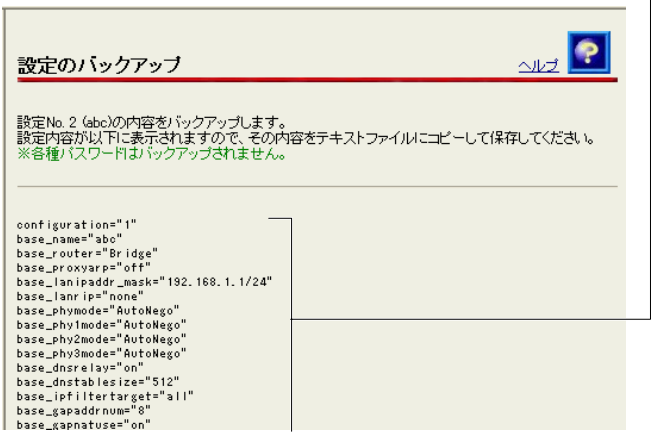
これまでに設定した各種内容は、すべて本製品のフラッシュメモリ内に、ユーザ設定として保存されています。
バックアップを行うと、ユーザ設定をファイルに保存することができます。

1 メニューフレームから、 バックアップ・リストア をクリックしてください。
操作フレームに設定のバックアップ・リストア画面が表示されます。



バックアップ内容を保存する場合

1 バックアップする をクリックしてください。
設定内容が設定のバックアップ画面に表示されます。



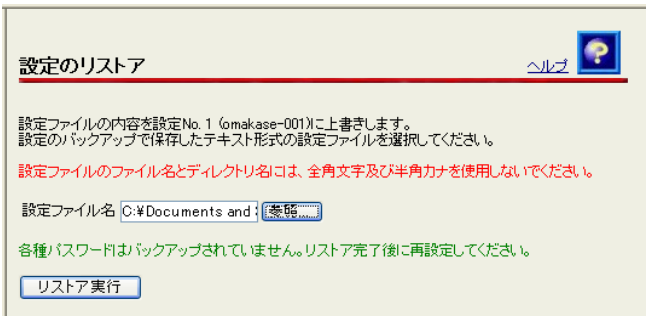
2 表示された設定内容をコピーし、「メモ帳」などに貼り付けて保存してください。

バックアップ内容をリストアする場合

バックアップ時の設定内容を再び機器に戻すことができます。

1 リストアする をクリックしてください。

設定のリストア画面が表示されます。



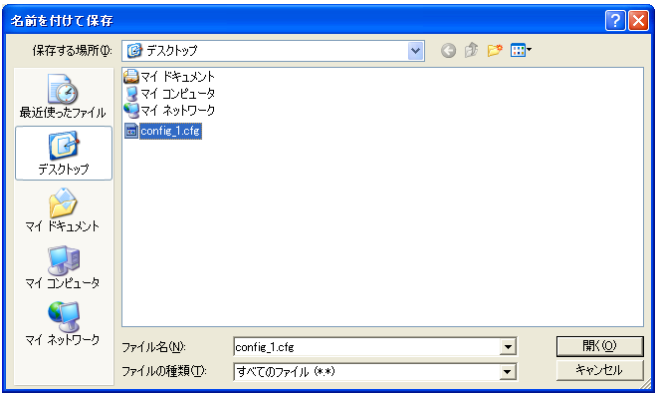
2 **設定ファイル名を選択してください。**

①［参照…］をクリックしてください。

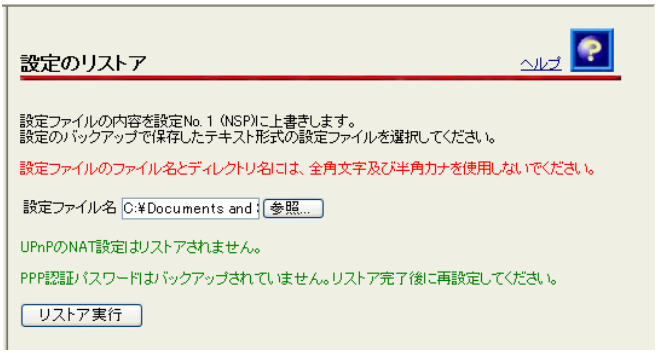
ファイル選択ダイアログが表示されます。

②「ファイルの種類(T)」欄に「すべてのファイル(*.*)」を選択し、ファイルを置いたフォルダに移動してください。

③ファイルを選択し、［開く(O)］をクリックしてください。

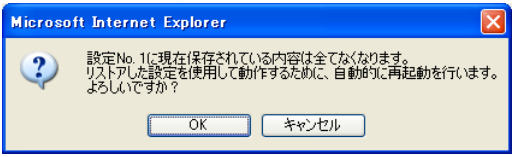


設定ファイル名欄にファイル名が表示されます。



3 ［リストア実行］**をクリックしてください。**

確認画面が表示されます。



4 OK をクリックしてください。

アップロードが完了し、「再起動」を促すメッセージがパソコン上に表示されます。

再起動後に設定内容が有効となり、復元された設定で動作します。

注意 **設定内容はフラッシュメモリに書き込まれます。**
書き込み中(Web画面表示が切り替わるまで)は、機器の電源を切らないようにしてください。
フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。

注意 **設定ファイルのディレクトリ名とファイル名には、全角文字および半角カナ文字は使用しないでください。**

注意 **ログインパスワードは保存されません。**

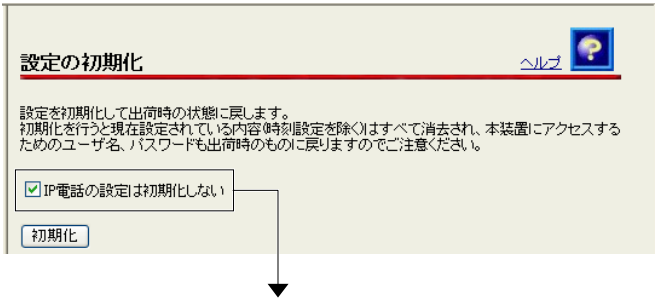
Memo 設定内容はすべてアップロードされた設定ファイルにより上書きされます。

3-4 設定の初期化

設定をやり直したい場合は、初期化を行って設定を出荷時の状態に戻すことができます。

1 メニューフレームの 初期化 をクリックしてください。

操作フレームに設定の初期化画面が表示されます。



Memo 「IP電話の設定は初期化しない」にチェックを入れた場合は、IP電話に関する設定のみ初期化されません。

2 初期化 をクリックしてください。

設定の初期化が開始されます。

注意 **設定内容はフラッシュメモリに書き込まれます。**
書き込み中(Web画面表示が切り替わるまで)は、機器の電源を切らないようにしてください。
フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。

3 再起動 をクリックしてください。

初期化設定で起動します。

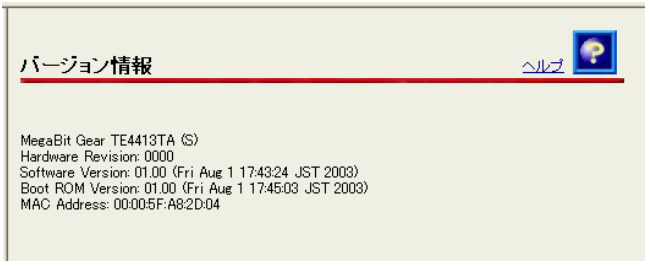
注意 **初期化および再起動を行っても、一旦設定された時刻設定は初期化されません。**

4 表示

4-1 バージョン情報

現在のバージョン情報一覧を参照できます。

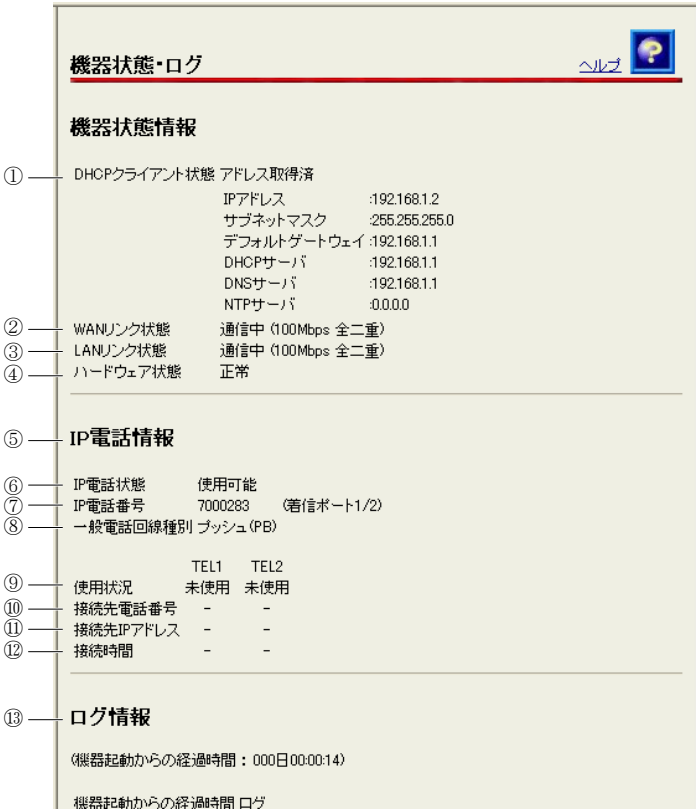
1 メニューフレームから **バージョン情報** をクリックしてください。
操作フレームにバージョン情報画面が表示されます。



4-2 機器状態・ログ

通信が途切れた時など、障害の有無を参照することができます。
また、ログ内容により本製品の変化を知ることができます。

1 **メニューフレームから、機器状態・ログをクリックしてください。**
操作フレームに機器状態・ログ画面が表示されます。



機器状態情報では、以下の情報を参照することができます。

①DHCPクライアント状態

DHCPクライアントを使用する設定を行っている場合に、接続の状況が表示されます。

「停止中」 ・・・・・・・・・・・・ 停止している
「アドレス取得中」 ・・・・ IPアドレスを取得中
「サーバ検索中」 ・・・・・・ DHCPサーバを検索中
「アドレス取得済」 ・・・・ IPアドレスを取得済み
「サーバ再確認中」 ・・・・ DHCPサーバを再確認中

Memo IPアドレスを取得済みの場合は、次の情報が合わせて表示されます。

IPアドレス： 取得したIPアドレス
サブネットマスク： 取得したサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ： 取得したデフォルトゲートウェイ
DHCPサーバ： DHCPサーバIPアドレス
DNSサーバ： DNSサーバIPアドレス
NTPサーバ： NTPサーバIPアドレス

②WANリンク状態

現在のWAN側Ethernetインタフェースの状態が表示されます。

「通信中」 ・・・・・・・・・・・ 接続が確立している
現在の動作モード（10Mbps/100Mbps、全二重/半二重も合わせて表示されます。）
「停止中」 ・・・・・・・・・・・ 停止している
「異常」 ・・・・・・・・・・・・・ 何らかの異常が発生し、停止している

③LANリンク状態

現在のLAN側Ethernetインタフェースの状態が表示されます。

「通信中」 ・・・・・・・・・・・ 接続が確立している
現在の動作モード（10Mbps/100Mbps、全二重/半二重も合わせて表示されます。）
「停止中」 ・・・・・・・・・・・ 停止している
「異常」 ・・・・・・・・・・・・・ 何らかの異常が発生し、停止している

④ハードウェア状態

本製品のハードウェア状態が表示されます。

「正常」 ・・・・・・・・・・・・・ ハードウェアに問題がない
「異常」 ・・・・・・・・・・・・・ 何らかの異常が検知されている

⑤IP電話情報

IP電話の現在の情報が表示されます。

⑥IP電話状態

「使用不可」 ・・・・・・・・・ 何らかの以上が発生し、停止している
「接続待ち」 ・・・・・・・・・ IP電話サーバに接続待ち

「接続中」 ・・・・・・・・・・・ IP電話サーバに接続中

「使用可能」 ・・・・・・・・・ IP電話サーバに接続が確立している

⑦IP電話番号

「電話ポート1」 ・・・・・・ TEL1ポートに割り当てられた電話番号

「電話ポート2」 ・・・・・・ TEL2ポートに割り当てられた電話番号

「電話ポート1/2」 ・・・・ TEL1、TEL2ポートに割り当てられた電話番号

⑧一般電話回線種別

接続している一般電話回線の種別が表示されます。

「プッシュ(PB)」 ・・・・・ プッシュ回線が接続されてる

「パルス(DB)」 ・・・・・・・ パルス回線が接続されている

⑨使用状況

「IP電話中」 ・・・・・・・・・ IP電話を使用している

「一般電話中」 ・・・・・・・ 一般電話を使用している

「未使用」 ・・・・・・・・・・・ 電話を使用していない

⑩接続先電話番号

IP電話使用中に、接続先の電話番号が表示されます。

⑪接続先IPアドレス

IP電話使用中に、接続先のIPアドレスが表示されます。

未使用の場合は「-」が表示されます。

⑫接続時間

IP電話、または一般電話使用中に、現在の接続累計時間が表示されます。

未使用の場合は「-」が表示されます。

⑬ログ情報

本製品が起動直後からメモリに上に蓄積しているログの内容が最新のものから順に表示されます。

Memo 本製品を起動した時点を0時とする、相対時刻で表示されている場合は、「3-2 時刻設定」を実施してください（☞ p.27）。

Memo 最大200件までのログが蓄積されます。
200件を越えると、古いものから順に削除されます。

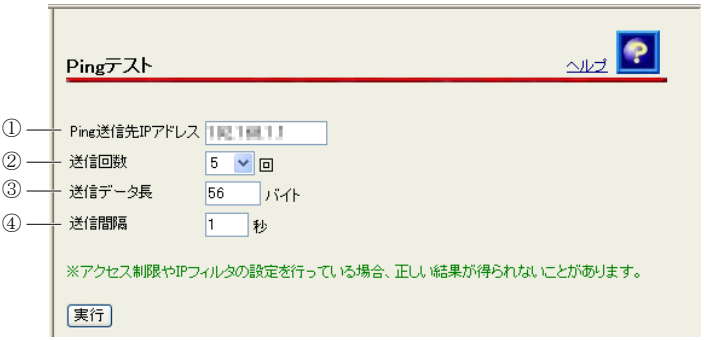
5 保守機能

5-1 Pingテスト

任意のネットワーク機器との通信が可能かどうかを確認できます。

1 Pingテスト をクリックしてください。

Pingテスト画面が表示されます。



①［Ping送信先IPアドレス］

Ping送信先IPアドレスを入力してください。

②［送信回数］

1～10の範囲から、数値を入力してください。

③［送信データ長］

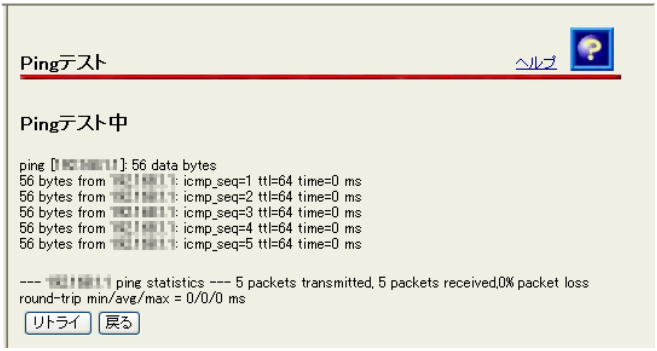
Pingパケットに含まれるデータ部分の長さを、4～4088の範囲から入力してください。

④［送信間隔］

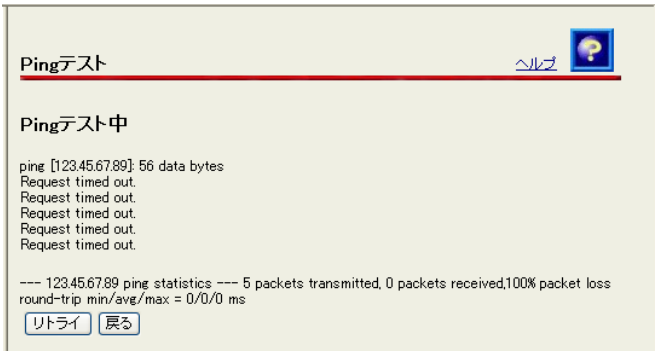
1～10の範囲から、数値を入力してください。

2 実行 をクリックしてください。

テストが成功した場合は、次のような画面が表示されます。



テストが失敗した場合は次のような画面が表示されます。



3 設定を再確認してください。

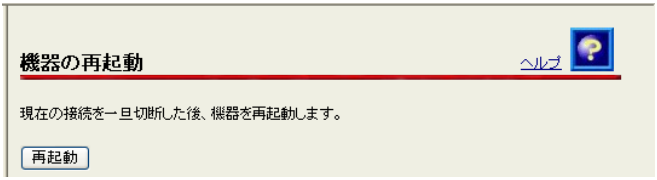
注意 Pingテスト中は、本製品へのWebアクセスはできなくなります。

注意 アクセス制限設定で「接続先側からのアクセスを禁止する」がチェックされていると、外部の機器との間でpingテストに失敗します(☞ 「2-5 アクセス制限設定」p. 18)。
また、LAN側のパソコンからpingテストを実施したあとでは、外部の機器との間で、本テストが失敗することがあります。

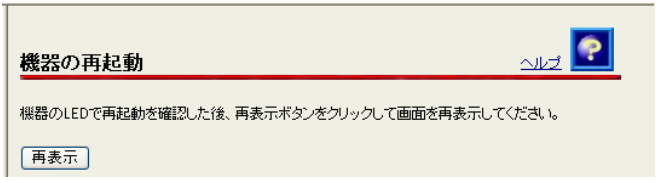
5-2 機器再起動

本製品では、Webブラウザから機器の再起動を行うことができます。

1 **メニューフレームから、 機器再起動 をクリックしてください。**
操作フレームに機器の再起動画面が表示されます。



2 **再起動 をクリックしてください。**
機器の再起動中の画面が表示され、本製品が再起動します。



3 **前面のランプで再起動を確認してください。**
前面ランプで“起動完了”状態が確認できたら、「機器状態・ログ」をクリックして、再起動していることを確認してください。

注意 **再起動中には、Webブラウザでの接続はできません。**

Memo 再起動終了後も、特に画面の表示に変化はありません。

5-3 バージョンアップ

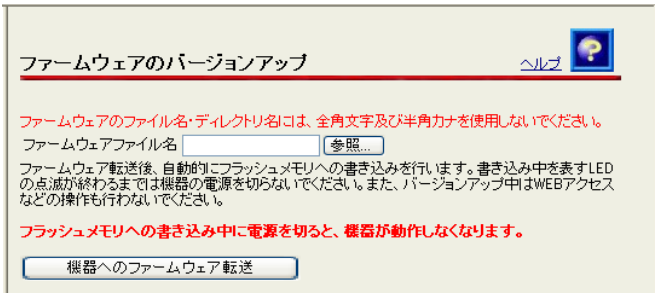
本製品は、ファームウェアをバージョンアップすることにより、機能強化を図ることができます。

注意 Microsoft Internet Explorer Ver.5.0(Service Pack2)では、バージョンアップできません。

1 提供されたファームウェアファイルをパソコン上の適当なフォルダに置いてください。

Memo ディレクトリ名、ファイル名に全角文字および半角カナを使用した場合、ファームウェアのバージョンアップができないことがあります。
その場合は、“C:¥”などの半角英字のみのフォルダにファイルを置いてください。

2 メニューフレームから、バージョンアップをクリックしてください。
操作フレームにファームウェアのバージョンアップ画面が表示されます。



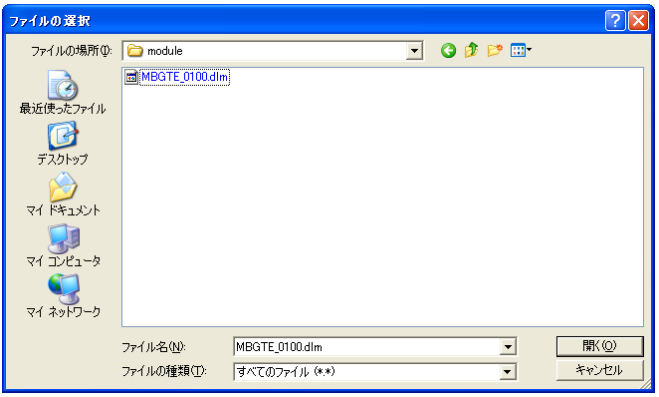
3 ファームウェアファイル名を選択してください。

①［参照…］をクリックしてください。

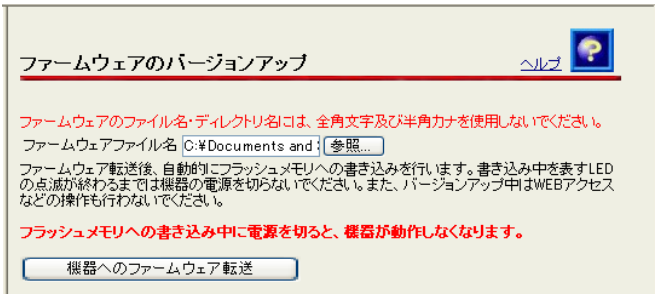
ファイル選択ダイアログが表示されます。

②「ファイルの種類(T)」欄に「すべてのファイル(*.*)」を選択し、ファームウェアファイルを置いたフォルダに移動してください。

③ファームウェアファイルを選択し、［開く(O)］をクリックしてください。

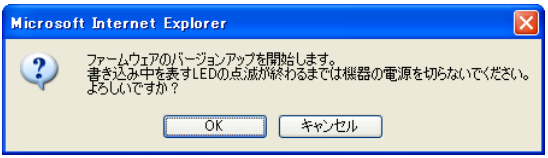


ファームウェアファイル名欄にファイル名が表示されます。



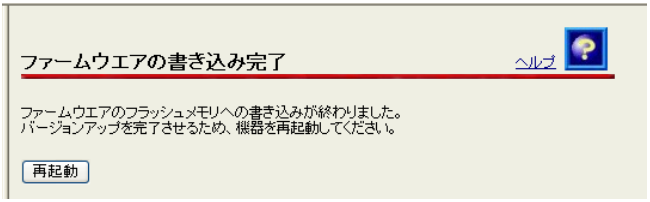
4 ［機器へのファームウェア転送］をクリックしてください。

ファームウェアのバージョンアップ開始のメッセージが表示されます。



5 **継続する場合は、 OK をクリックしてください。**

機器へのファームウェア転送が行われ、機器のファームウェア転送完了画面が表示されます。



注意 **ファームウェアはフラッシュメモリに書き込まれます。**
機器の電源を切らないようにしてください。
書き込み中は前面のLine、VoIP、Lan、PPP/DHCP、Wan、およびAlarmの各ランプが点滅します。
フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。

6 **再起動 をクリックしてください。**

新しいファームウェアで本製品が起動します。

Memo 本製品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。
各種設定内容やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給が途切れても内容が保持されます。

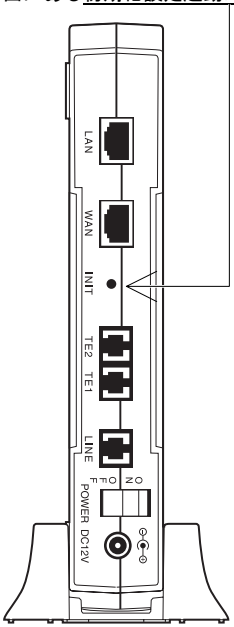
7 **機器を再起動後、ファームウェアのバージョンを確認してください。**

Memo ファームウェアのバージョン情報の確認方法については、「4-1 バージョン情報」を参照してください(☞ p. 33)。

5-4 初期化設定での起動方法

本製品に設定した内容(ログインユーザ名、パスワードなど)を忘れてしまい、本製品へのアクセスができなくなった場合は、初期化設定で起動することにより、本製品にアクセスできるようになります。

1 **本体背面にある初期化設定起動スイッチ(INIT)を5秒間押してください。**



本製品は、一時的に初期化設定で再起動します。

この間、前面のPPP/DHCPランプが緑と橙の点滅を繰り返します。

注意 **再起動が完了した後もINITスイッチを押し続けていると、再起動が繰り返えされます。**

2 **初期化設定を使用して、パソコンから本製品へアクセスしてください。**

初期化設定の値

モード	簡易設定(簡易モード)	詳細設定(詳細モード)
ユーザ名	user	root
パスワード	user	root
IPアドレス	192.168.1.1	192.168.1.1

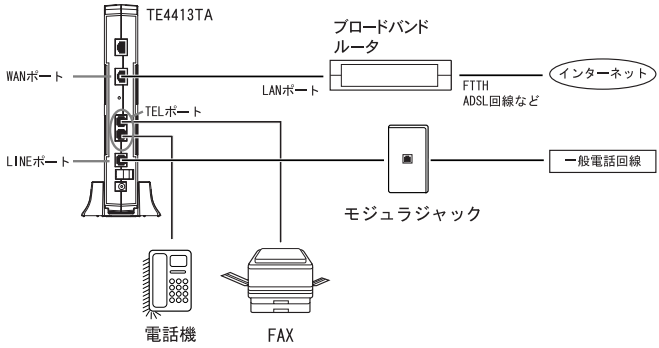
3 **必要な設定を行った後、機器を再起動して使用を開始してください。**

6 IP電話機能

6-1 IP電話について

本製品は、接続した2台の電話機やFAXに個別の電話番号を割り当てることも、同一の電話番号を割り当てることもできます。次にそれぞれのサービスや機能の種類と内容を示しています。

IP電話の構成例

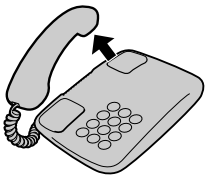


サービス・機能の名称	対象となる電話	内容	設定画面	一般電話のサービス契約	参照
発信	IP電話・一般電話	IP電話または一般電話に対し電話をかけます。			p. 45
着信	IP電話・一般電話	IP電話または一般電話からの電話を受け付けます。			p. 46
ナンバー・ディスプレイ表示	IP電話・一般電話	IP電話・一般電話から着信した時に、発信者番号を電話機／FAXに表示します。	IP電話設定	ナンバー・ディスプレイ	p. 47
キャッチホン（一般電話）	一般電話	一般電話中に一般電話からの着信を受け付けます。	IP電話設定	キャッチホン	p. 49
疑似キャッチホン	IP電話・一般電話	IP電話中に一般電話からの着信を受け付けます。			p. 53
IP電話番号（複数設定・ダイヤルイン）	IP電話	最大3つのIP電話番号を使用できます。IP電話番号ごとに着信ポートを設定できます。	IP電話設定		p. 56
発信電話網選択	IP電話・一般電話	接続する電話番号ごとに、IP電話・一般電話のどちらから発信するかをあらかじめ登録できます。	発着信設定		p. 57
識別着信・着信拒否	IP電話	接続する電話番号ごとに、IP電話で着信した時に着信するポート、もしくは着信しない（拒否）設定をあらかじめ登録できます。	発着信設定		p. 58

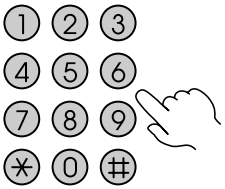
6-2 発信(電話をかけるには)

本製品のTELポートには、一般電話回線で使用している電話機、FAX、またはFAX付き電話機を使用することができます。

1 電話機の送受話器を取りあげます。



2 相手方の電話番号をダイヤルボタンで押します。



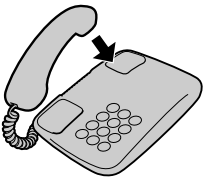
3 呼び出し音で、 電話、一般電話のどちらで発信しているかが確認できます。

(IP 電話の場合)
プップップ、トゥルルルル(プップップ音を確認してください)

(一般電話の場合)
トゥルルルル

4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わりましたら、送受話器を置きます。



注意 本製品に電源が供給できない状態や、IP電話機能が使用できない状態(VoIPランプが緑色に点灯していない状態)でも、TELポートに接続されている電話機の発信を、一般電話回線に対して行うことができます。この場合、一般回線を利用した場合の電話料金がかかります。

注意 お使いの電話機のACR機能、LCR機能はオフにしてください。

Memo 続けて電話をご利用になる場合は、送受話器を3秒以上置いた後にダイヤルしてください。

Memo 送受話器を取りあげたまま、しばらくダイヤルボタンを押さなければハウラー音が鳴ります。

Memo FAXの発信を行う場合は、接続しているFAXの操作方法に従って操作してください。

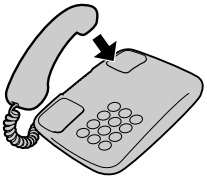
6-3 着信(電話を受けるには)

一般電話回線、IP電話を通じて着信があると、TELポートに接続した電話機やFAX付き電話機に着信します。そのときは、TELポートに接続された電話機から着信音が鳴ります。

1 **電話機の着信音が鳴ります。**

2 **電話機の送受話器を取りあげて、相手の方とお話しください。**

3 **お話しが終わりましたら、送受話器を置きます。**



注意 本製品に電源が供給できない状態や、IP電話機能が使用できない状態(VoIPランプが緑色に点灯していない状態)でも、TELポートに接続されている電話機に着信通知が届き、一般電話回線での通話を行うことができます。

6-4 ナンバー・ディスプレイ表示(発信電話番号表示サービス)

本製品はナンバー・ディスプレイの機能に対応しています。
電話をかけてきた相手の電話番号(発信者番号)を、TELポートに接続した電話機やFAX付き電話機に通知することができます。
この機能を使用するためには、以下の条件を満たす必要があります。

IP電話の場合

・ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やFAX付き電話機を本製品のTELポートに接続する。
・IP電話設定で、ナンバー・ディスプレイ対応電話機に接続するTELポートを指定する(☞ 「2-2 IP電話設定」p. 12)。

一般電話の場合

・NTTとナンバー・ディスプレイの契約を行う。
・キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やFAX付き電話機を接続する。
・IP電話設定で、ナンバー・ディスプレイ対応電話機に接続するTELポートを指定する(☞ 「2-2 IP電話設定」p. 12)。

注意 ナンバー・ディスプレイを使用するには、あらかじめ本製品に設定が必要です。

注意 ナンバー・ディスプレイを使用するには、事前にNTTとの契約が必要です。

注意 一般電話の着信時には、ナンバー・ディスプレイ表示は1つのTELポートに接続する電話機にしか行うことができません。
両方のTELポートには行えません。

注意 本製品の設定は契約内容に従って行ってください。
契約内容と違う設定を行うと電話機やFAXが正常動作しない場合があります。

注意 プロバイダ側で機能対応していない場合や、ナンバー・ディスプレイにおいて相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合などは、本製品に接続した電話機やFAX付き電話機に発信者番号は通知されません。
電話番号を通知できない主な理由は次のとおりです。

・公衆電話からの発信
・プロバイダ側で機能対応していない
・発信側が電話番号を通知しない操作をした
・発信側が電話番号を通知しない契約になっている
・ナンバー・ディスプレイを提供しないエリアからの発信
・サービスが競合しているため電話番号を通知できない場合

Memo 電話機やFAX付き電話機によっては、発信者番号が正しく表示されないことがあります。

6-5 キャッチホン(通話中に別の電話を受けるには)

NTTとキャッチホン契約を行っていると、一般電話で相手と通話中に、一般電話の別の相手から電話がかかってきた場合、通話中の方を保留にしてかけてきた方と通話することができます。

1 **相手と通話中に「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングしてください。**
かけてきた相手の方に切り替わります。

2 **通話を開始してください。**

3 **別の相手と通話する場合は、再度フッキングしてください。**

注意 キャッチホンを使用するためには、事前にNTTとの契約が必要です。

Memo キャッチホン中に相手の方との通話が完了し、フッキングを行うと保留にしていた方との通話を再開することができます。

キャッチホンを使用した場合、発信音、キャッチホン・ディスプレイで通話状態を判断することができます。
次にキャッチホン時の、フッキングによる通話状態の様子を示します。

一般電話使用中に一般電話回線からの着信があった場合

		相手との通話	別の相手による着信※1	別の相手との通話※2
通話状態		一般電話	一般電話	一般電話
ランプ	Tel1	橙色に点灯	橙色に点灯	橙色に点灯
	Tel2	橙色に点灯	橙色に点灯	橙色に点灯
発信音	着信側通知	なし	「プップッ、プップッ」という着信音	なし
	発信側通知	なし	通常の呼び出し音	なし
キャッチホン・ディスプレイ		無表示	発信者電話番号表示	無表示

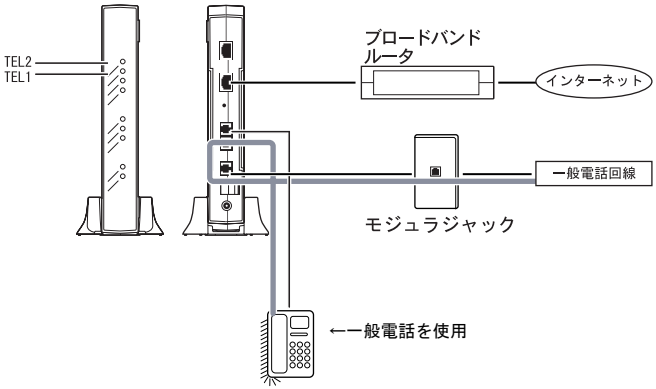
※1 この状態でフッキングによる通話相手の切り替えが行えます。
※2 この状態で再フッキングにより、元の相手との通話に切り替えが行えます。
表中の発信音の着信側通知：受話器に聞こえる発信音です。
表中の発信音の発信側通知：別の相手方からの発信される発信音です。

6-5-1 キャッチホンの切り替え例

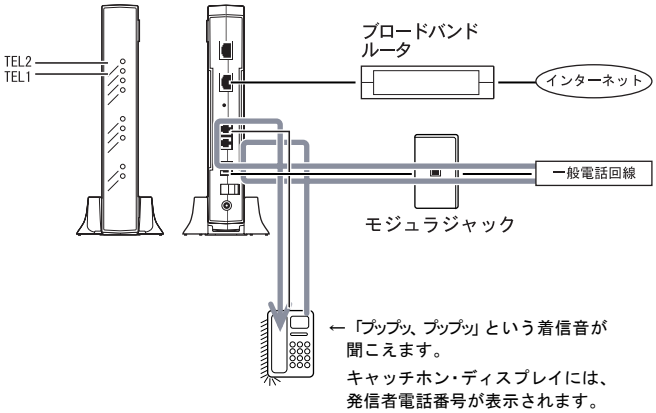
一般電話を使用中に新たに一般電話経由から着信があった場合

キャッチホン機能を使用して、一般電話から新たに着信のある一般電話に切り替える場合の様子を示します。

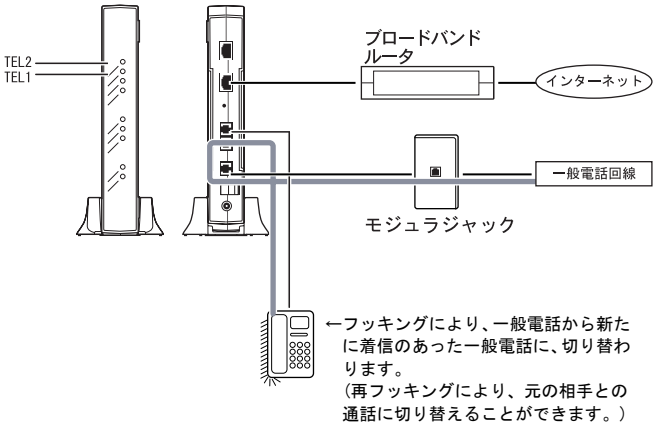
①一般電話を使用中



②一般電話回線からの着信通知



③フッキングにより一般電話回線に切り替わる



6-5-2 キャッチホン・ディスプレイ表示

本製品のTELポートはキャッチホン・ディスプレイに対応しています。
キャッチホン・ディスプレイは、一般電話において電話をかけてきた方の電話番号(発信者番号)を電話機やFAX付き電話機のディスプレイに表示するサービスです。相手と通話中に、別の相手の方から電話がかかってきたとき、TELポートに接続した電話機やFAX付き電話機に電話番号を通知します。
この機能を使用するためには、以下の条件を満たす必要があります
·NTTとキャッチホン・ディスプレイの契約を行う。
(☞ 「6-4 ナンバー・ディスプレイ(発信電話番号表示サービス)」p. 47)
·キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やFAX付き電話機を接続する。
·IP電話設定で、ナンバー・ディスプレイ対応電話機に接続するTELポートを指定する(☞ 「2-2 IP電話設定」p. 12)。

注意 **本製品の設定は契約内容に従って行ってください。**
契約内容と違う設定を行うと電話機やFAXが正常動作しない場合があります。

Memo キャッチホン・ディスプレイにおいて相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合などは、本製品に接続した電話機やFAX付き電話機に発信者番号は通知されません。
・公衆電話からの発信
・発信側が電話番号を通知しない操作をした
・発信側が電話番号を通知しない契約になっている
・ナンバー・ディスプレイを提供しないエリアからの発信
・サービスが競合しているため電話番号を通知できない場合

Memo 電話機やFAX付き電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。

Memo キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「プップッ、プップッ…」という着信音に加えて「ピッ」という割込音が聞こえます。
この割込音と通話中の声が重なると電話番号などの表示ができないことがあります。
また、1秒程度通話が途切れます。

6-6 擬似キャッチホン(通話中に別の電話を受けるには)

IP電話で相手と通話中に、一般電話の別の相手の方から電話がかかってきた場合、通話中の方からかけてきた方へ切り替えて通話することができます。

1 **相手と通話中に「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、1回フッキングしてください。**
かけてきた相手の方に切り替わります。

2 **通話を開始してください。**

注意 擬似キャッチホンは、以下の制限があります。
- 一般電話回線に切り替えるとIP電話との接続が切れます。
- 一般電話回線使用中は、IP電話からの着信が通知されません。
- IP電話使用中の電話機には、IP電話の別の相手からの着信は通知されません。

Memo 擬似キャッチホンは本製品の機能であるため、使用するには契約は必要ありません。

擬似キャッチホンを使用した場合、ランプ、発信音で通話状態を判断することができます。次に擬似キャッチホンを使用した場合、電話機でのフッキングによる通話状態の様子を示します。

IP電話使用中に一般電話回線からの着信があった場合

		相手との通話	別の相手による着信※1	別の相手との通話※2
通話状態		IP電話	IP電話	一般電話
ランプ	Tel1	緑色に点灯	橙色に点灯	橙色に点灯
	Tel2	緑色に点灯	橙色に点灯	橙色に点灯
発信音	着信側通知	なし	「プップッ、プップッ」という着信音	なし
	発信側通知	なし	通常の呼び出し音	なし

※1 この状態でフッキングによる通話相手の切り替えが行えます。
※2 この状態で再フッキングにより、元の相手との通話に切り替えが行えます。
表中の発信音の着信側通知：受話器に聞こえる発信音です。
表中の発信音の発信側通知：別の相手方からの発信される発信音です。

IP電話使用中に一般電話回線からの着信があった場合

		相手との通話	別の相手との通話※1
通話状態		IP電話	一般電話
ランプ	Tel1	緑色に点灯	橙色に点灯
	Tel2	緑色に点灯	橙色に点灯
発信音	着信側通知	なし	なし
	発信側通知	なし	応答不可通知を応答

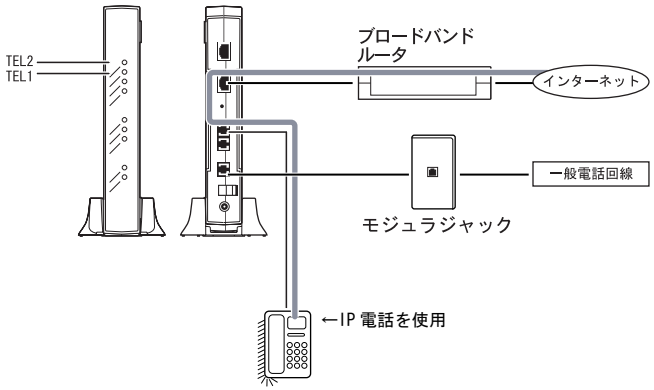
※1 一般電話通話中にIP電話の着信通知はできません。
この状態ではフッキングによる通話相手の切り替えは行えません。
表中の発信音の着信側通知：受話器に聞こえる発信音です。
表中の発信音の発信側通知：別の相手方からの発信される発信音です。

6-6-1 擬似キャッチホンの切り替え例

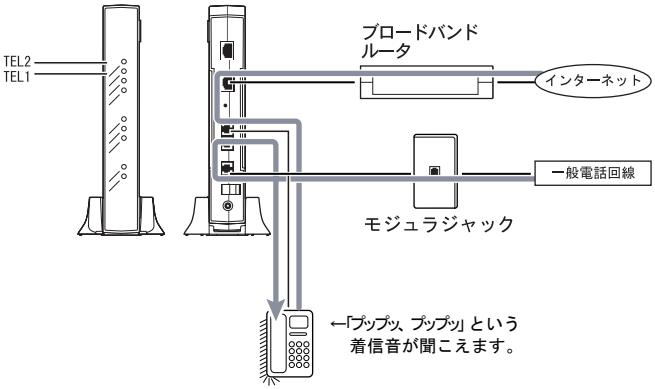
IP電話を使用中に一般電話回線から着信があった場合

次に、擬似キャッチホン機能を使用して、IP電話から一般電話回線に切り替える場合の様子を示します。

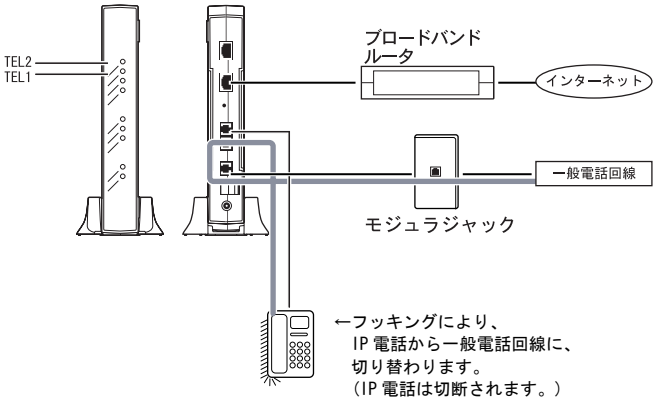
①IP電話を使用中



②一般電話回線からの着信通知



③フッキングにより一般電話回線に切り替わる



6-7 IP電話番号について(複数設定・ダイヤルイン)

電話番号は、プロバイダとの契約により1つ、または2つ以上の電話番号が割り当てられます。

Memo プロバイダから割り当てられた電話番号の設定については、「2-2 IP電話設定」(☞ p.12)を参照してください。

Memo 電話番号の割り当てが1つの場合は、TEL1ポート、TEL2ポートとも接続される機器は同じ電話番号の扱いになります。

Memo 電話番号の割り当てが2つ以上の場合は、「IP電話設定」の「IP電話番号(追加1)」、「IP電話番号(追加2)」で「電話ポート」を選択した条件で着信します。
ただし、「IP電話設定」の「IP電話番号」で設定した電話番号宛ての場合はTEL1ポート、TEL2ポートともに接続されている機器に着信します。

6-8 発信電話網選択

発信には基本的にIP電話を使用しますが、下記の接続先に対してIP電話経由か一般電話回線経由か選択することができます。

-1XYサービス(110、119など)(184、186を除きます。)
-フリーダイヤル(0120発信)
-ダイヤルQ2(0990発信)
-携帯電話(090、または080発信)
- PHS(070発信)

注意 **TELポートに接続する電話機、FAX、またはFAX付き電話機は、トーン信号に設定してください。**

Memo 一般回線がパルスの場合、電源断時には電話機の設定をパルスに変更する必要があります。

Memo 上記以外にも任意の電話番号を登録し、発信する電話網を選択することができます。

6-9 識別着信・着信拒否

個別の接続先電話番号に応じて、着信するポートを限定する、または着信しない(着信拒否する)よう設定することができます。

(☞ 「6-8 発信電話網選択」 p.57)

6-10 IP電話を使用するための設定

本製品には電話機、FAX付き電話機、FAXをTELポートに接続することができます。
それぞれの接続機器に対応した設定を行ってください。
(☞ 「2-2 IP電話設定」p. 12、☞ 「2-4 IPアクセス設定」p. 17)

IP電話を使用するための設定内容

		本製品に接続する機器
		電話機
設定内容	IP電話設定(☞ 「2-2 IP電話設定」p. 12)	
	IP電話機能	・使用する ・使用しない
	IP電話ホスト名	プロバイダより設定内容が規定されています。 プロバイダの指示に従ってください。
	IP電話ユーザID	
	IP電話ユーザパスワード	
	IP電話番号	
	IP電話番号(追加1)	
	IP電話番号(追加2)	
	IP電話サーバ名	
	優先して使用する音声圧縮方式	
	FAX転送方式	
	IP電話発信の通知番号 (電話ポート1)	IP電話番号を選択
	IP電話発信の通知番号 (電話ポート2)	IP電話番号を選択
	IP電話着信のナンバー・ディスプレイ表示	接続するポート番号を選択
	IP電話発信時の発信トーン	「DT」「PDT」から適切なものを選択
	IP電話発信時の呼び出し音	「IR」「SIR」から適切なものを選択
	一般電話の着信ポート	着信ポートを選択
	一般電話着信のナンバー・ディスプレイ表示	接続するポート番号を選択
	一般電話のダイヤル信号方式	「自動認識」「トーン」「パルス」から適切なものを選択
	一般電話とのキャッチホン契約	「契約あり」「契約なし」から適切なものを選択
	電話ポートのダイヤル信号方式	「一般電話にあわせる」「常にトーンを使用」から適切なものを選択
	IP電話設定(☞ 「2-4 IPアクセス設定」p. 17)	
	DNSサーバアドレス取得方法	プロバイダより設定内容が規定されています。 プロバイダの指示に従ってください。
	DNSサーバアドレス	
	NTPサーバ	

注意 FAXの接続、ナンバー・ディスプレイ表示対応機器を接続するTELポート、キャッチホン契約の有無の設定が正しくない場合、正常に発着信ができないことがあります。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を転載、複製することは禁止されています。

2. 本書および本製品は、改善のため予告なしに変更する場合があります。

本製品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
MegaBit Gear は、住友電気工業株式会社の登録商標です。
＊Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
＊Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
＊Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
＊Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
＊Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
＊Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。
＊Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。
＊Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
本書では、Windows®98とWindows® 98SEを含めて、Windows 98と表記しています
Macintosh®、Mac®、Mac® OSは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
Netscape®、Netscape Navigator®およびNetscape® Communicatorは、米国Netscape® Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Ethernet®は米国XEROX社の登録商標です。
JavaScript®は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
VxWorks®は米国Wind River Systems, Inc.の登録商標です。
その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
®マークおよび™表記については本文中に明記しません。
This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (http://www.apache.org/).
Copyright © 1993-2002 by Darren Reed.

MegaBit Gear TE4413TA

取扱説明書(詳細編)

2003年8月　初版
製造元　住友電工ネットワークス株式会社

MNF01079-000